



文化教養学科

6月27日プログラム

ローマ字で書かれた平家物語!?

—日本語の歴史をたどる手がかりとは—

体験授業（日本語史）

- 高校までに学ぶ古典作品の言葉と、現代の私たちが話す言葉には大きな隔たりがあります。
- では、日本語はどのように変化して今に至るのでしょうか。また、残された資料から、どのように「話し言葉」の歴史を読み解くことができるのでしょうか。
- この授業では、古代～現代の間に位置する、室町時代の話し言葉の姿を、世界に一冊しか残っていない『天草版 平家物語』 [注] という資料を使って、みなさんと一緒に探ります。

- ・ 古典が苦手でも大丈夫！
- ・ 歴史好きな方も大歓迎！

[注] 1592-93刊。16世紀末～17世紀にかけて来日した宣教師の日本語（歴史）学習のために編まれた読み物。鎌倉時代に成立した『平家物語』を、ローマ字書き・当時の話し言葉で記している。

背景画像：大英図書館所蔵 天草版『平家物語』（国立国語研究所Webサイト〈https://dglb01.ninjal.ac.jp/BL_amakusa/〉より）

NIFON
COTOBAN
Historia uo narai
FOSSVRV FITO NO
NI XEVA NI YAVA RA
RVFEIQENO MONOG

